

# 町田市民病院

クォーターリー

vol.39  
2018年 秋号



夏休み子ども病院見学会の様子

地域医療支援病院に  
承認されました。



## トピックス

- 地域医療支援病院に承認されました
- 市民公開講座を開催しました
- 東京都災害拠点病院に指定されています
- 新任医師紹介

<http://machida-city-hospital-tokyo.jp/>

# 地域医療支援病院に承認されました

## 地域医療の向上に貢献していきます

町田市病院事業管理者(兼)町田市民病院院長  
近藤直弥



町田市民病院は、地域の中核病院としての役割を明確にするために「地域医療支援病院」を目指すことを中期経営計画（2017年度～2021年度）の目標の一つに掲げました。そしてこのたび、地域のみなさんと医療機関のご協力により、8月30日付で東京都から承認を得ることができました。

今後当院は、地域医療の向上のため、これまで以上に地域の医療機関との連携を強め、それぞれの役割分担を推進いたします。当院の役割としては、地域の医療機関からの紹介患者を積極的に受け入れて、特に入院診療と救急診療に力を入れてまいります。これにより、当院の医療資源を重症患者や緊急性の高い患者の治療に注力することができ、また、診察や検査の待ち時間を短縮する効果も期待できます。

そのために、みなさんには日ごろ健康上の問題が生じたときに相談できる「かかりつけ医」を持っていただきたいと思います。そして当院の受診を勧められた際には、かかりつけ医からの紹介状をお持ちください。紹介状をお持ちでないと、診療料とは別に国が基準を定めた「選定療養費」をご負担していただく必要があります。

当院での急性期の治療を終えられた際には、かかりつけ医へ治療を引き継がせていただきます。その際、当院からかかりつけ医への情報提供にぜひご同意ください。当院での治療内容をかかりつけ医にしっかりとお伝えすることができますので、安心して治療を継続していただけます。もちろん、再度入院治療や手術が必要になれば当院で診させていただきますので、ご安心ください。

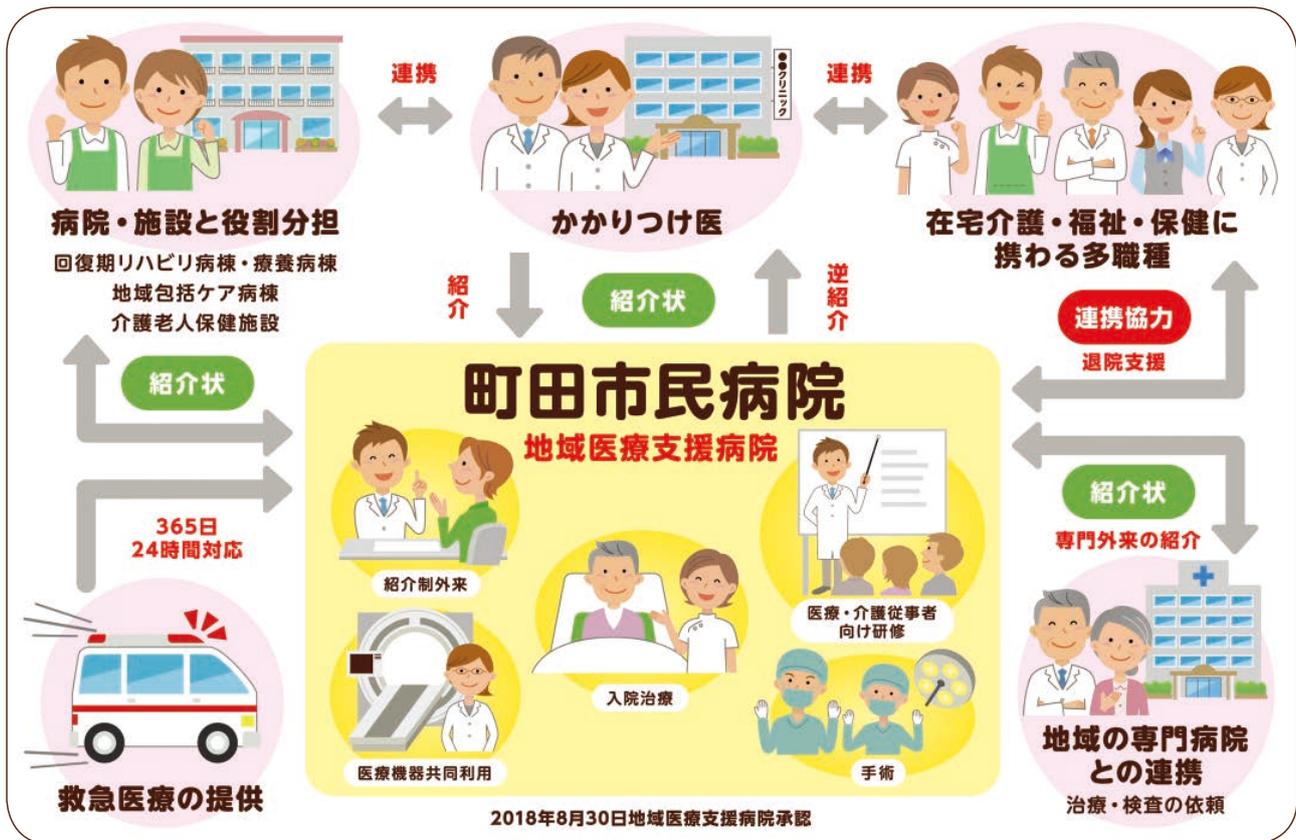
今後も引き続き、当院の基本理念である「地域から必要とされ、信頼、満足される病院」を目指してまいります。みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 地域医療支援病院とは

医療を必要とされる方がこれからも身近で適切な医療を受けられるように、地域にある限られた医療資源（医療者や医療機器など）は有効に活用しなければなりません。いま全国各地で医療機関の機能分化が進められているのは、地域で完結型の医療を提供するために必要不可欠だからです。

「地域医療支援病院」は、医療機関の機能分化と連携を推進するために制度化されたもので、連携度合を示す指標である紹介率や逆紹介率などが一定の基準に達した場合に、都道府県から承認される病院です。地域医療の第一線を担う診療所（かかりつけ医）から紹介された患者さんに対して入院治療や手術、救急医療などを提供するのが主な役割です。

## 地域における町田市民病院の役割



## 選定療養費を改定しました

地域医療支援病院の承認を受けたことで、2018年9月1日から選定療養費を改定いたしました。地域医療支援病院に指定された病床数400床以上の病院は、地域医療の役割分担・連携促進のため、選定療養費を国が定める基準額以上とすることが義務付けられています。

### ●初診時の選定療養費について

病院と診療所の役割分担の推進を図る観点から、他の医療機関からの紹介によらず、当院に直接来院された場合に、初診に係る費用としてご負担いただきます。

### ●再診時の選定療養費について

当院を受診されて症状等が落ち着いた際には、地域の医療機関に再度紹介をさせていただいています。紹介状を作成させていただいた後もなお当院を受診されるなどの場合、紹介後の再診時以降、受診のたびにご負担いただきます。

(税込)

		改定前	改定後
初診時の選定療養費	医科	2,700円	5,400円
	歯科	2,700円	3,240円
再診時の選定療養費	医科	—	2,700円
	歯科	—	1,620円

いずれの場合も、普段はかかりつけの医療機関を受診していただき、必要な場合には紹介状をご持参のうえご来院いただければ、選定療養費はかかりません。医療の役割分担にご理解・ご協力をお願いいたします。

# 地域の医療機関との連携を進めています



## 地域医療の役割分担について

副院長(兼)地域医療担当部長 金崎 章

医療機関には、役割によって一次医療機関・二次医療機関・三次医療機関という区分があるのをご存知でしょうか。

一次医療機関は、みなさんに一番身近なクリニックなどの医療機関で、日常の軽度の怪我や病気を診ます。かかりつけ医として体調管理や病状の相談に乗り、必要に応じて専門病院を紹介するという役割があります。

二次医療機関は、かかりつけ医からの紹介や救急により搬送された、入院治療や手術を必要とする重症患者を診る医療機関で、急性期病院とも言われます。町田市民病院はこの二次医療機関です。

三次医療機関は、二次医療機関では対応できない重篤な患者を診る医療機関で、高度医療や先端医療を提供する病院です。大学病院をイメージするとわかりやすいと思います。

ひとつの病院ですべての患者さんを診るのは不可能であるため、このような区分を設けてそれぞれが役割を果たすことで、地域全体で医療を支えています。そのため、医療機関同士のつながりが非常に重要になります。

当院では、かかりつけ医の先生との連携強化を図るため、2017年度から『連携医制度』を開始しました。患者さんが紹介で病院を移るときにも安心して治療を続けられるよう、地域の医療機関との情報共有や共同研修を行っています。今後は高齢者が増えることで、在宅での医療がより重要になってきます。医師会・歯科医師会をはじめ、介護事業者とも連携を強めることで、みなさんが安心して暮らせるまちづくりを目指してまいります。

区 分	役 割	例
一次医療機関	軽症患者の治療・かかりつけ医	地域のクリニック
二次医療機関	入院や手術を必要とする患者の治療	町田市民病院
三次医療機関	高度医療を必要とする患者の治療	大学病院

## 地域医療に関する委員会について

かかりつけの医師・歯科医師などからの要請に適切に対応し、地域の医療を確保するための支援を行うことを目的として、2017年度から『地域医療に関する委員会』を開催しています。

委員会は、町田市医師会、町田市歯科医師会、町田市薬剤師会、町田消防署、町田市保健所といった、地域医療において重要な役割を担う団体の代表者に当院の院長・副院長を加えた計9人で構成されており、医療機能の役割分担をはじめ、救急医療の提供体制や医療機器・病床の共同利用、地域の医療従事者に対する研修などについて意見交換しています。



## 医師会・歯科医師会長から、 町田市民病院との連携についてお話を伺いました

### 顔の見える関係づくりで、質の高い地域医療を

町田市医師会会長 林 泉彦



町田市医師会は、約400名の開業医・病院勤務医で構成されています。医師会員の活動は診察室の中だけではなく、町田市のがん検診・成人健康診査・乳幼児健診や、休日・準夜急患こどもクリニックでの診療、介護保険の認定審査委員などに協力しているほか、医療・介護に関する多職種による顔の見える関係づくりの主催もしています。また、すべての認可保育園をはじめとして、園医や学校医を嘱託されており、子どもの健康と安全も守っています。

医療には役割分担がありますが、1998年に国により地域医療支援病院制度がつけられたこともあり、かかりつけ医が日頃のケアを行い、必要なときに市民病院などの急性期病院へ紹介するという流れが出来てきています。慢性期の高齢者の場合は、市民病院ではなく地域包括ケア病棟※のある病院を紹介することもあります。こうした病院がないと市民病院がパンクしてしまい、急性期医療が必要な患者さんの受入先がなくなってしまうため、在宅医療もうまくいきません。このように、医療機関には様々な役割・つながりがあるため、紹介した患者さんの症例検討会を市民病院と一緒にやるなど、お互いの顔の見える関係づくりを行っています。



今後も診療面での関係を強化するために医師会もぜひ協力させていただき、共に町田の医療を支えていきたいと思っております。

※地域包括ケア病棟：急性期の治療が終了し病状が安定したものの、すぐに自宅や施設で療養するのに不安のある方や、自宅や施設で療養している、急性期の治療は必要ないものの入院治療が必要な方などを受け入れる病棟。

### 口腔ケアで共に患者さんの健康を支えたい

町田市歯科医師会会長 小川 冬樹



町田市歯科医師会には現在148名の会員がおり、自院での歯科診療とは別に町田市民を対象にした歯科口腔健康診査、高齢者歯科口腔機能健診、障がい者歯科診療等を行っています。高齢者歯科口腔機能健診では、行政と一体となって摂食嚥下機能（食べる・飲み込む）が低下したと診断された方への機能回復トレーニングなどを実施しており、全国的に見ても先駆的な取り組みです。また、障がい者歯科診療で行っている先天的な摂食嚥下障害に対する診断、機能回復療法も、近隣ではこのような施設が少ないため多くの患者さんが来院されています。

町田市民病院には、外科的処置が必要な埋伏歯（顎骨内に歯が埋まった状態）抜歯、口腔内軟組織疾患、外傷、腫瘍等の患者さんを紹介しています。今後は市民病院で手術やがん治療を受ける患者さんのための周術期口腔ケア※に積極的に協力していきたいと考えています。また、歯科以外の診療科とも連携を広げていけると良いと思います。例えば、歯周病と糖尿病には相関関係があって、糖尿病の方は歯周病になりやすく、一方で重度な歯周病になると血糖コントロールが難しくなるとも言われており、歯科と医科の連携協力した治療が有効だと考えています。町田市民病院は地域医療支援病院になったこともあり、今後地域において果たす役割は大きいと思いますので、先生方の関わりに期待しています。

※周術期口腔ケア：手術前後の時期に行う口腔ケア。全身麻酔の手術や抗がん剤治療を受けると免疫力が低下し、口腔内の細菌が原因で合併症につながるおそれがあることから、口腔内を清潔に保つために行う。



## 2018年度 第1回市民公開講座を開催しました

2018年6月4日開催

### 「もしかしてリウマチ？」



リウマチ科部長  
医師 緋田 めぐみ

リウマチと聞いてよくイメージされるのは、朝のこわばり、関節の痛み、関節の変形の3点です。これらの症状は変形性関節症などの疾患でもみられることから、レントゲンや採血等の検査により診断します。

かつてリウマチは平均寿命が10年は短くなる

病気といわれていましたが、治療薬の進歩がリウマチ治療の目標をドラスティックに変えました。痛みを取り除く治療から普通の人と同じ生活・寿命を目指す治療へと変わったのです。

リウマチは、骨関節を破壊する病気で、発症後2年間の進行が最も速いため、早期診断・早期治療が大切です。数日以上関節が腫れた状態が続いた時や、複数の関節が一度に腫れた時には、まずはお近くの整形外科の受診をお勧めします。リウマチの専門的な検査や治療が必要と判断された場合や、ご心配が続く場合は、町田市民病院を含めたリウマチ専門医のいる病院に紹介してもらいましょう。「もしかしてリウマチ？」と思ったら、まずは早期受診が大切です。

## 2018年度 第2回市民公開講座

### 夏休み子ども病院見学会を開催しました

8月4日(日)、町田市在住の小学校4～6年生を対象に、市民病院の各部門の仕事体験や施設見学を行う「夏休み子ども病院見学会」を開催しました。

参加したお子さんからは、「院長先生に初めて会えて嬉しかった。」「これまで以上に医療に興味を持つことができた。」「手術体験が楽しかった。」「心臓マッサージは少し疲れたけど、人が倒れていた時に助ける方法が分かってよかった。」「将来は放射線技師になりたい。」「将来の夢が看護師だったけど、その思いが強くなった。」「いつかここで働きたい。」などの声をいただきました。

#### 〈各部門での見学・体験内容〉

- 手術室：鶏肉を使っでの電気メス体験や内視鏡でのピースつかみ競争など
- 看護部：ビデオ教材とAED（自動体外式除細動器）を用いた心肺蘇生学習
- 放射線科：MRIやCTなど画像診断装置の操作体験
- 薬剤科：薬に見立てたお菓子の調剤体験
- 栄養科：手作りお菓子の試食とクイズ



手術室



放射線科



薬剤科

## 東京都災害拠点病院に指定されています

当院は、災害時において主に重症者の収容・治療を行う病院として、東京都から「災害拠点病院」に指定されています。

また、2014年1月には、大規模な自然災害や事故が発生した際に、東京都知事からの要請に基づき被災者の医療支援活動を行うDMAT（災害派遣医療チーム）を結成しました。

なお、2016年度には東日本大震災の教訓をうけ、停電時でも全ての医療機器の稼働が可能な自家発電設備への更新を行い、災害時でも安定した医療の提供ができるよう備えています。

### ● 防災訓練を実施しました

災害拠点病院である当院は、災害時には町田市内外から多くの重症患者さんが運ばれてくることが考えられます。その際、患者さんを重症度によって振り分け（トリアージ）、円滑に適

切な処置が行えるよう、年に一度、医師や看護師、医療技術職、事務職等を含め、防災訓練を実施しています。今年は8月26日(日)に、近隣の旭町2丁目町内会の方々に負傷患者役としてご協力いただき、訓練を行いました。今後もみなさんの安心を確保するため、定期的に訓練を重ねていきます。



防災訓練の様子

## 新任医師紹介

新しく仲間になりました常勤医師をご紹介します。これからどうぞよろしくお願いいたします。

①出身大学・卒年

②趣味

③メッセージ



外科 外科総合診療部長  
(兼)緩和ケア担当部長  
**池内 健二**  
(いけうち けんじ)  
①東京慈恵会医科大  
1982年卒  
②音楽鑑賞、ゴルフ  
③緩和ケアを主にやっていきます。宜しくお願いします。



外科 医長  
**毛利 貴**  
(もうり たかし)  
①東京慈恵会医科大  
1999年卒  
②ラグビー観戦、お酒  
③外科領域で町田市に貢献できるよう努力いたします。



外科 医長  
**田中 雄二朗**  
(たなか ゆうじろう)  
①東京慈恵会医科大  
2003年卒  
②スポーツ観戦  
③より良い医療を提供できればと思います。宜しくお願いします。



外科  
**岩瀬 亮太**  
(いわせ りょうた)  
①東京慈恵会医科大  
2009年卒  
②スポーツ観戦  
③各々の患者様に合った治療を行える様心掛けています。



外科  
**石川 あい**  
(いしかわ あい)  
①埼玉医科大  
2013年卒  
②テニス  
③町田市民の皆様のご健康に少しでも貢献できる様、頑張ります。



外科 (緩和ケア担当)  
**谷中 淑光**  
(やなか よしみつ)  
①東京医科歯科大  
2006年卒  
②スキー  
③地域医療に貢献できるよう緩和医療の研鑽を積んでいきます。



泌尿器科  
**青木 崇一郎**  
(あおき そういちろう)  
①東京慈恵会医科大  
2012年卒  
②読書  
③患者さんへ寄り添った医療を心がけて診療致します。



産婦人科  
**北村 直也**  
(きたむら なおや)  
①東京慈恵会医科大  
2013年卒  
②旅行  
③町田市民の皆様のお力になれるよう、精一杯努力いたします。

## 町田市病院事業運営評価委員会を開催しました

2018年度第1回町田市病院事業運営評価委員会を2018年7月4日(水)に開催し、2017年度の決算見込や中期経営計画の進捗状況、2018年度町田市民病院事業計画について説明しました。

委員からは「市民病院には二次医療を今以上に担ってもらい、他の医療機関の急性期医療部分を少しずつ市民病院に移していくことがこれからの方向性になると考えている。」「委員として長年見ていて、市民病院は組織力が上がってきており、いい人材が入りやすい

環境になっている。今後はコミュニケーションスキルの育成など、人材の流出を未然に防ぐ対策が求められる。」等のご意見・ご提案をいただきました。

### 委員の皆さん

木藤一郎（旭町二丁目リフレッシュクラブ会長）、渋谷明隆（学校法人北里研究所理事）、根本勝（公募委員）、林泉彦（町田市医師会会長）、水町浩之（経営コンサルタント）、山内芳（税理士）

50音順・敬称略



つくって元気！

## 楽笑レシピ

### 食物繊維で便秘予防！ さつまいもと根菜の炊込みご飯



材料（6人分）

◎米	3合
◎サツマイモ	150g
◎レンコン	50g
◎ごぼう	50g
◎黒ごま塩	お好みで

### 《作り方》

- ①サツマイモは1~1.5cm角の大きさに切り、水にさらす。
- ②レンコンは薄めのいちょう切りにし、酢水にさらす。
- ③ごぼうはさがきにし、水にさらす。
- ④洗米した米を炊飯器に入れ通常の水加減にし、水気を切ったサツマイモ、レンコン、ごぼうを加え炊飯する。
- ⑤炊けたら全体をよく混ぜ、お好みで黒ごま塩をかけて完成。

### 豆知識

- イモ類や根菜類は食物繊維を多く含む食材として知られていますが、中でもサツマイモは水溶性と不溶性の両方の食物繊維が含まれているため、便秘の予防に役立ちます。



1人分 310kcal・食物繊維1.6g  
町田市民病院 栄養科：加藤



編集・発行：町田市民病院  
〒194-0023 東京都町田市旭町2-15-41  
TEL：042-722-2230（代）  
<http://machida-city-hospital-tokyo.jp/>